

うきょう

2020 2.15
市民しんぶん右京区版

かどかわだいさく 門川大作市長が4選

次の京都へ 「挑戦と改革」

2月2日に実施した市長選挙の結果、現職の門川大作市長が当選。引き続き、市政のかじ取りを担うことになりました。

門川市長は就任以来、現地現場主義を徹底し、1万超の市民活動の現場を訪問。市民の皆さんとの声を直接お聞きし、市政に反映しました。また、厳しい財政状況の中、市民参加と行財政改革などを断行しつつ、京都の今と未来のための政策を全力で進めてきました。

引き続き、市民の皆さんと共に、人口減少や少子化、相次ぐ自然災害など山積する課題の解決に挑戦し、未来に責任を持ち、さらなる改革を実行すると決意を表明。緊密な府市協調、国との強固な連携の下、誰一人取り残さない持続可能な京都の実現に向け、まちづくりを進めていきます。

5つの柱と 主な取り組み

① 人生100年時代の「安心」を創る!

- 急病時に安心な24時間365日の医療相談体制の構築
- 特別養護老人ホームなど地域に根差した介護基盤の整備、介護を支える担い手の育成支援や待遇改善
- 保育所・学童クラブ待機児童ゼロの継続や、子ども医療費助成制度の充実

② 「いのち」を守る、防災減災先進のまちを創る!

- 下水道の雨水幹線の整備による浸水対策や、倒木・土砂災害対策の推進
- 災害時に都市機能を確保する橋りょうの耐震補強や広域道路ネットワークの整備
- マイバッグやマイボトルの利用促進による、使い捨てプラスチックの削減

③ 力強い「経済」と都市の「活力」を創る!

- 地域企業・中小企業の販路開拓や事業承継など持続的発展への支援、企業の成長支援や起業家を創出・集積する環境整備の構築
- 子育て世代向けの住居や、オフィス・研究開発拠点などの確保・創出
- 自動運転技術等を活用した新たな交通ネットワークの整備など、京都市創造都市圏の創出

④ 文化的チカラで、くらしとこころの「豊かさ」を創る!

- 機能強化した文化庁の円滑な全面的移転の推進、芸術家や作品の魅力発信の支援など文化と経済の好循環による文化芸術市場の活性化
- 安心・安全や地域文化の発展・継承に貢献しない宿泊施設のお断り、市バス等の混雑・マナー違反などへの対策の徹底
- 小中学校や児童館などでの伝統文化体験の充実

⑤ まちづくりを支える「持続可能な財政」を創る!

- 子ども・若者の健全育成や文化財・匠の技の継承に向けた基金の創設、宿泊税に続く新たな財源の創出
- 人件費総額を100億円削減するなど、令和5年度までの4年間で700億円の財源のねん出
- 区役所での手続きの一元的な受け付けなど、窓口サービスの向上と区役所機能の強化